

平成 30 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	有)高岡生活健康医療支援サービ ス	ホーム名	ちぐさこがねいろの里ホー ム	ID	3028
評価機関	株式会社 ケアシステムズ			評価日	2018. 11. 24

スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価
1.1.1	C	C	2.3.3	A	A	6.1.2	C	C
1.1.2	C	C	2.3.4	B	B	6.1.3	A	A
1.1.3	A	C	2.3.5	C	C	6.2.1	A	A
1.1.4	B	C	2.3.6	C	B	6.2.2	A	A
1.2.1	B	B	2.3.7	B	B	6.2.3	A	A
1.2.2	B	B	2.3.8	B	A	6.2.4	A	A
1.2.3	B	B	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	B	B	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	C	C	6.2.8	A	B
1.4.1	B	B	2.4.2	C	C	6.2.9	B	A
1.4.2	B	B	2.4.3	C	C	6.3.1	C	C
1.4.3	C	B	2.4.4	A	A	6.3.2	B	B
1.4.4	B	B	2.4.5	B	B	6.3.3	C	C
1.4.5	A	A	2.4.6	B	B	7.1.1	A	A
1.4.6	C	C	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	B	A	7.2.1	A	A
1.4.8	A	A	3.1.3	B	B	7.3.1	非該当	B
1.5.1	A	B	3.1.4	A	A	7.3.2	非該当	A
1.5.2	A	A	3.1.5	A	B	7.3.3	非該当	A
1.5.3	C	C	3.1.6	A	A	7.3.4	非該当	A
2.1.1	B	A	3.1.7	A	A	7.4.1	非該当	C
2.1.2	C	A	4.1.1	A	A	7.4.2	非該当	C
2.2.1	A	A	4.1.2	C	C	7.4.3	非該当	B
2.2.2	A	A	4.1.3	B	B	7.4.4	非該当	A
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	B	C	7.5.1	非該当	C
2.2.5	C	C	4.2.2	C	C	7.5.2	非該当	A
2.2.6	B	A	5.1.1	B	C	7.5.3	A	A
2.2.7	C	A	5.1.2	A	B	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	非該当	A
2.2.9	B	非該当	5.2.2	A	A	7.5.6	A	B
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	B	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	非該当	B	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A
2.3.2	B	B	6.1.1	A	A	7.6.3	B	B

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケールNo.	所 見
7-5-2	全室18室の小規模ホームであることや全室個室形式になっていることから、全体的にアットホームな環境になっている。各居室は18.22㎡であり、ベッドや家具類を除いても十分な広さが確保されている。手狭感はなく、居室でも思い思いに活動できるスペースが確保されていることが確認できている。各居室をはじめ廊下、食堂、様々なところに空気清浄機を設置しており、感染症対策にも力を入れている。
3-1-6	同一敷地内には、ホームの別棟として2階建てのデイサービスが設置されている。ホームからは雨天でも濡れないで行き来できるように、渡り廊下が設置されており、利用者が自立歩行で通えるようになっている。現在の利用者14名全員が、日中はデイサービスに通っており、様々なアクティビティ参加できるようになっている。利用者間のコミュニティ作りや自立支援を目指した適切な環境が整備されている。
6-2-1	ホーム内には居宅介護支援事業所が設置されており、各種の介護保険サービスが適切に受けられるようになっている。さらに介護保険以外の相談援助も担当者（ケアマネジャー）から受けられるようになっており、現在、利用者全員がデイサービスなどの介護保険サービスを受給している。ホームの職員との連携によって、アセスメント、ケアプラン、各種のサービス提供、モニタリングなどの適切なケアマネジメントがなされていることが確認できている。
7-6-1	医師がホームの代表者になっており、ホームの配置医として医療的な支援にも従事している。毎週土曜日にはホームに訪れ、利用者一人ひとりと面談して様子を確認し、必要とする医療的な支援を提供する流れとしている。さらに、夜間などに心身状況が急変した際には、いつでも救急対応できる体制が整っている。充実した医療的な支援体制が確立していることがうかがえる。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケールNo.	所 見
1-1-4	ホームは昨年度（平成29年）経営刷新に取り組んでおり、経営層から一般職員に至るまでの人事の見直しを図り、「利用者本位のサービス提供」を目指す体制作りに着手している。まだ1年が経過したに過ぎず、大きな成果は得られていないが、職員一人ひとりのモラルやモチベーションが向上していることも報告されている。さらに、経営改善を推進するにあたり、経営の4資源（人、モノ、金、情報）についての現状分析を図り、具体的な改善計画を事業計画に明示し、関係者の周知を図ることが望まれる。
1-4-1	サービスの向上を図るためには職員の育成が不可欠とされる。経営改善に着手して日も浅いことやタイトな人身体制であることなどから、職員の育成計画が策定されていないことが懸念される。経営改善をさらに推進するためには、業界や地域などの動向、ホームを取り巻く経営環境、介護保険法などの幅広い知識が必要とされる。さらにサービスマナーの向上を図ることも期待される。現在、満室でないことを踏まえ、営業活動にも取り組むことが必要とされている。それらの状況を踏まえ、適切な育成計画を早期に策定することが必要とされる。